

科 目	化学基礎	単 位 数	2 単位	年 間 授 業 時 間	70 時間
対 象 学 年 ・ ( 組 )	2年	使用教科書(出版社)	改定 化学基礎 (東京書籍)		
	必修	副 教 材 等	改定 プログレス 化学基礎 (第一学習社)		

教 科 担 当 者
-----------

指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標【年間授業計画】	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標【年間授業計画】	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標【年間授業計画】	
4月	序編 化学と人間生活	9月	2編 物質の変化 1章 物質と化学反応式 1節 原子量・分子量・式量	1月	3章 酸化還元反応 1節 酸化と還元	
	1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素 1節 物質の成分		2節 物質の質量		2節 酸化剤と還元剤	
	2節 物質の成分構成元素		3節 溶液の濃度		3節 金属の酸化還元反応	
5月	2章 原子の構造と元素の周期表 1節 原子の構造	10月	4節 化学反応式とその量的関係	2月	4章 酸化還元反応の応用	
	2節 電子配置と周期表		2章 酸と塩基 1節 酸と塩基			2節 酸化還元反応の応用
	3章 化学結合 1節 イオンとイオン結合		2節 酸と塩基			2節 酸化還元反応の応用
6月	2節 分子と共有結合	11月	2節 水素イオン濃度とpH	3月	【評価の観点・方法】	
	3章 化学結合 1節 イオンとイオン結合		2節 酸と塩基			【評価の観点・方法】
	2節 分子と共有結合		2節 水素イオン濃度とpH			
7月	3節 金属と金属結合	12月	3節 中和反応と塩の生成	【評価の観点・方法】	【評価の観点・方法】	
	4節 物質の分類		4節 中和と滴定			【評価の観点・方法】

**【評価の観点・方法】**

〔評価の観点〕

- ・自然の事物・現象に関心や探求心をもち、意欲的に探求しようとする。
- ・自然の事物・現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、表現している。
- ・観察、実験を行い、基本操作を習得することができる。
- ・自然の事物・現象について、基本的な概念を原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

〔評価方法〕

- ・定期考査
- ・ノート提出
- ・小テスト
- ・プリント
- ・発問